



多田 勉 議員

一問一答方式

令和4年度市長施政方針演述の 具体的見解を問う

市長 宮守保育園の整備進める

水道未整備地区への対応と経営基盤強化への具体策は

問……………

市内15地区が未だに水道未整備地区で、小友町外山地区では水源の凍結で使えない所がある。均衡ある生活環境の実現を進めるべきでは。

答(市長)……………

自家水道施設整備事業で補助を行っていい。今後も計画を見直し各世帯の状況に即した対応をしていく。

た対応をしていく。

問……………

施設の改修・更新は、将来に莫大な財政負担を残すことになる。安定した経営基盤強化への具体策は。

答(市長)……………

課題を先送りせず、計画に予算を明確にして取り組んでいくべきだ。遠野市上下水道事業審議会は施工、修繕と料金、費用の計画を検討し、将来重荷にならない形で後世に引き継がなければならない。

市内河川管理に役割を果たすべき

問……………

綾織町砂子沢川など、河川氾濫の要因を解消するためには、行政が最大限対処しなければならぬ役割と責任がある。

答(市長)……………

引き続き重要度、危険度を判断し、河川の

安全度向上を図る維持管理を県に要請していく。

宮守保育園の整備計画は

問……………

昭和55年に建設され、老朽化により雨漏り等課題となっている宮守保育園の整備計画は。

答(市長)……………

40年以上経過し、老朽化による早期整備が求められていることから、宮守保育園の整備を進めていく。

遠野産馬生産振興の具体策は

問……………

馬農家の経営向上を目指し、魅力ある馬事を

振興の確立を支援すべきであるが、生産振興の具体策は。

答(市長)……………

馬産地としての衰退が懸念されるが、農家の育成が馬事振興の要である。

遠野の馬を確実に販売する営業力や発信力を高め、生産農家の経営が成り立つプロセスを構築したい。

林業担い手の対策に学習拠点を

問……………

林業の担い手育成、確保が課題である。遠野市が核となって、林業の学習拠点を誘致すべきでは。

答(市長)……………

担い手問題は重要である。林業で生計や事業が可能かを明確にするため、森林経営ビジョンに向けた座談会と林業版「起業塾」を開催し、そこに参加する人を増やす取り組みを始める。



早期の改築が望まれる宮守保育園

最優先課題の人口減少対策は

市長 解決に向け本腰を入れて取り組む

問……………

若者の地元定着強化策として、市長自ら学校への出前授業等によって遠野の暮らしの素晴らしさを講義しては。

答(市長)……………

既に高校へ申し入れており、地域特性を生かしたネット販売やホップ和紙の商品化、新たな農業スタイルの展望などについて一緒に考えたい。

問……………

中学校の統廃合によ

って使われていない校舎の活用を。

答(市長)……………

地域の小規模産業拠点として活用したい。例えば、ハムや加工品の製造、6次産業など。

問……………

空き家の活用策として「空き家バンク」への登録件数を増やすべき。また誘致企業の社員用住宅として提案しては。

答(市長)……………

提言内容に加えて、

移住しやすい環境づくりや、子供たちが住んでいる地域の良さに気づきプライドを持つて外部発信できるようにしたい。

財政状況と市民サービスは

市長 厳しい現状を改善したい

問……………

当市の財政は危機的状況にあると認識するが、市長に就任後の見解は。

答(市長)……………

これまでの市政を継続すると、主要三基金残高見込み額は令和7年度に8億円まで減少する(H30は25億円)。また、市道整備計画の進捗遅れ、水道事業の経常収支赤字転落、物件費増など厳しい状況にある。

問……………

中心市街地活性化に向け、建物行政から知恵や工夫、イベント等のソフト行政に転換すべき。

答(市長)……………

遠野には、コンテンツや観光材料等が多く

問……………

あすもあ遠野1Fは、4年間も未使用状態が続いている。一日も早い活用を。

答(市長)……………

新年度からの活用に向け検討・企画中である。

問……………

「みんなの井戸端会議」で市民から出された多くの不平不満と身近な市民サービス対応は。

答(市長)……………

各地区センター等の小規模改修に通常の倍ほどの予算を用意した。大規模工事は全体計画を再検討したい。

その他の質問
●遠野市政の刷新について

